



## 公益財団法人メニコン芸術文化記念財団 2025年度 主催事業ラインアップ・リリース

主催:

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団  
愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号

TEL: 052-938-7185 (10時-17時) \* 休館日除く(不定期)

FAX: 052-982-9108

広報に関するお問い合わせ:

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団 主催事業ラインアップ 広報担当

TEL: 03-4213-4292 (平日10時-18時) FAX: 03-4333-0878

E-mail: [press@aoi-press.info](mailto:press@aoi-press.info)

<https://meniconart.or.jp/>

# 主催事業ラインアップ一覧 2025.4-2026.3

通し 番号	ジャンル	タイトル	日程	掲載 ページ
1	芸術監督作品 演劇	山口茜 脚本・演出 サファリ・P 『悪童日記』	6月14日(土) ～15日(日)	P4
2	現代美術	梅田哲也 劇場ツアー型作品 『(タイトル未定)』	9月中旬(日程調整中)	P5
3	演劇	二兎社 『狩場の悲劇』(新作公演)	12月17日(水) ～18日(木)	P6
4	舞踊 音楽	森下真樹 ベートーヴェン『運命』全楽章を踊る	2月8日(土) ～9日(日)	P7
5	舞踊 共催事業	<b>共催事業</b> メニコンシアターAoi×愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2025	11月初旬(日程調整中)	P8
6	演劇 人材育成 共催事業	<b>共催事業</b> 第11回全国学生演劇祭	3月上旬(日程調整中)	P9
7	演劇 人材育成	メニコンシアターAoi 劇作家プログラム	通年 (リーディング上演は 3月22日(日))	P10
8	トーク 映画	芸術監督トークシリーズ	通年 (7/13, 11/15 他)	P11
9	ワークショップ 子どもから大人まで	ヒョーゲンアソビノバ	11月27日(木) 12月9日(火)	P13
10	音楽	下垣真希 平和のコンサート2025	8月9日(土)	P14
11	音楽	小曽根真トリオ TRiNFIniT <small>Y</small>	9月26日(金)	P15
12	音楽	『EPOCH STAGE エポックステージ Vol.2 ～オペラ歌手ですが、なにか?～』	10月18日(土)	P16
13	音楽 レクチャー 人材育成	プリズムステージ&プリズムスクール	2025年4月～2026年3月 約30公演開催予定	P17
14	伝統芸能 トーク 地域連携	メニコンシアターAoi 防災落語&トーク	2025年5月20日(火)	P18
15	映像上映 音楽	シアターロビーイベント 『光の切り絵～雫の旅～』 (同時開催[不定期] ロビーコンサート)	原則毎週水曜日 (劇場でイベント開催がある 日は実施なし)	P19

# 代表理事からのご挨拶

あらゆる人々が心豊かな生活を送る上で、芸術文化が果たす役割は非常に大きいと考えております。また、芸術文化が根付いた地域でこそ、経済や産業におけるイノベーションが発生していくのではないのでしょうか。

一方で、昨今の芸術文化を取り巻く環境は、劇場・ホールの閉館や公演機会の減少により、将来の発展に向けて重要な役割を担う若者の活躍の場や、地域の方々が優れた芸術文化に触れる機会が徐々に失われつつあります。

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団は、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能の振興並びに地域の芸術文化・教育の発展に寄与することを目的とし、2021年9月に設立いたしました。2023年4月には愛知県より「公益財団法人」の認定をいただき、「公益財団法人メニコン芸術文化記念財団」に移行いたしました。

当財団は、公演事業及びメニコンシアターAoi、HITOMIホールの貸出・管理・運営を通じて、若手実演家やクリエイターの活躍・育成の場の創出、幅広い方々が芸術文化に触れ合うことができる環境の構築に貢献してまいります。

2023年7月にグランドオープンしたメニコンシアターAoiは、山口茜芸術監督のもと、開館3年目も素晴らしいラインアップをお届けできる運びとなりました。2012年に開館したHITOMIホールでは、本年も引き続き、公演事業、人材育成事業をはじめとした多彩な音楽事業を展開いたします。また、2025年度より賛助会員様の募集も開始し、より一層、みなさまと共に地域の文化・芸術活動を盛り上げてまいります。

今後共、当財団の活動にご支援、ご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表理事 田中英成

## 田中英成(株式会社メニコン取締役兼代表執行役会長 CEO・眼科医)



### 経歴

1987年4月	株式会社メニコン 入社
1988年6月	愛知医科大学眼科学教室 研修医
1989年9月	総合上飯田第一病院眼科 医員
1994年4月	有楽河合ビル眼科 院長
	株式会社メニコン 取締役
1999年6月	株式会社メニコン 取締役副社長
2000年6月	株式会社メニコン 代表取締役社長
2010年6月	株式会社メニコン 取締役代表執行役社長
2023年4月	株式会社メニコン 取締役代表執行役会長
2025年4月～	株式会社メニコン 名誉会長

### 受賞歴

2005年11月	フランス芸術文化勲章 シュバリエ受章
2018年4月	藍綬褒章受章
2019年8月	シンガポール共和国 The Public Service Star 受章

### 主な公職

2004年6月～2017年6月	一般社団法人日本コンタクトレンズ協会	会長
2017年6月～	同	相談役
2009年4月～2023年4月	在名古屋シンガポール共和国	名誉総領事
2013年4月～	日本室内楽アカデミー楽友会	理事
2016年12月～2023年6月	公益財団法人東京二期会	理事
2016年12月～2023年5月	学校法人名古屋自由学院	理事・評議員
2021年5月～	公益財団法人セントラル愛知交響楽団	理事
2021年9月～	公益財団法人メニコン芸術文化記念財団	代表理事
2022年5月～	一般社団法人名古屋二期会	理事
2022年10月～	クリエイティブ・リンク・ナゴヤ	理事長
2022年11月～	公益社団法人スター・クラシックス協会	代表理事
2023年10月～	学校法人愛知医科大学	客員教授

# メニコン シアターAoi芸術監督からのご挨拶

我々の生きる現代社会では、ジェノサイドがおき、国内でもこれまでなかったような形の犯罪が多発しています。深刻な環境問題も抱える中で、私たちの不安は高まっており、そこから生まれる暴力を前に、私たちは簡単に人を信頼してはいけなと学ばされる日々が続いています。そのような中で、私たち一人一人にできることは、自分を信じ、他者を信じることです。各々がその力を養っていけば、いずれ世界の平和を実現することも夢ではないと思います。

自分や他者の存在そのものを信じるためには、自分と他者の間に起きる現象に対して、常にその判断を揺らぎのあるものにしておくことが必要です。合理的な判断を急ぐのではなく、俯瞰で物事を観察し、ちょっとした違和感を無視しないこと。そこには間違いなく自分の個性が潜んでいます。それについて自分の考えだけでなく、感情についてもつぶさに言語化すること。また、そのやりとりを他者と共に積み重ねることによって、自分が何を美しいと思うのかが明らかになり、他者が自分とは違う個性を持った存在であることもまた同時に知ることができます。

そういった力を養うことのできる手段の一つとして、舞台芸術があります。今年のメニコン シアターAoiもこれまで通り、ご来場くださった皆様に、充実したプログラムをお届けします。劇場では一人になって感動したり内省したりする時間を持つことができますし、家族や友人と連れ立ってお越しになれば、経験を分かち合う時間を持つこともできます。舞台芸術を真ん中に置いて、他者と共にそれぞれの感情をしっかりと受け止める時間を持つことができれば、劇場という場所は私たちの生活にとって安らぎを得る場所、なくてはならない場所となるでしょう。

さらに、これから数年かけて、ご来場くださった皆様が、主体的に参加できるようなプログラムも少しずつ増やしていきたいと考えています。言語化に続いて、演技であったり、歌であったり、踊りであったり、それに限らずさまざまな方法で、自分を表現したいと考える人たちの活躍の場にもしていきたいと考えています。

今年も、劇場スタッフをはじめ、利用される皆様、ご来場くださる皆様と共に、メニコン シアターAoiを自分が主役になれる場所へとより一層進化させていきたいと思っています。

メニコン シアターAoi芸術監督 山口茜



## 山口茜(劇作家・演出家)

### 経歴

1997月 京都の野外劇団に役者として入団  
1999年 「魚船プロデュース」を設立し、作・演出を担当(7作品上演)  
2002年 団体名を「トリコ・A」と改称し、固定メンバーでの活動を開始  
2003年 京都芸術センターセレクションに選出、上演  
2005年 東京国際芸術祭リージョナルシアターに参加  
2007年 文化庁新進芸術家海外留学研修制度研修員としてフィンランドに2年間滞在、フィンランド国立劇場にて研修  
フィンランド国立劇場(ヘルシンキ)にてJuha Mäkelä演出『VEDEN HOUKUTUS(日本語:誘ふ水)』中の1作品として『豊満ブラウン管』(劇作担当)を上演  
2010年 帰国後、第一作としてトリコ・Aプロデュース『クリスチネ』を上演  
2015年 アトリエ劇研アソシエイトアーティストに就任(～2017年)  
利賀演劇人コンクール2015に参加したメンバーで「サファリ・P」を立ち上げ  
2016年 セゾン文化財団シニアフェローに選出(～2018年)  
2017年 合同会社stampを設立  
サファリ・P 第2回公演『悪童日記』を京都・東京・松山にて上演  
2019年 コソボ共和国の演劇祭FEMART Festival 7th、瀬戸内国際芸術祭2019にて『悪童日記』を上演  
2021年 メニコンシアターAoi(名古屋市)芸術監督に就任

### 受賞歴

2003年 第10回OMS戯曲賞大賞  
2007年 若手演出家コンクール2006 最優秀賞  
2012年 文化庁芸術祭新人賞  
2013年 龍谷奨励賞  
2015年 利賀演劇人コンクール2015 優秀演出家賞一席

## 〈芸術監督作品〉

芸術監督作品 演劇

芸術監督・山口茜の演出作品を上演。

# 1 原作: アゴタ・クリストフ 脚本・演出: 山口茜 サファリ・P『悪童日記』



2025年6月14日(土)～15日(日) 両日とも 13:00開演(予定)

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



原作: アゴタ・クリストフ『悪童日記』(ハヤカワ文庫)

翻訳: 堀茂樹

脚本・演出: 山口茜

出演: 芦谷康介、佐々木ヤス子、達矢(以上 サファリ・P)、  
辻本佳、森裕子(Monochrome Circus)

全席自由

一般4,000円 U25(25歳以下)1,000円 障がい者割引2,000円



6/14(土): ポータブル字幕機サービス(日本語・英語)あり

6/15(日): 託児サービスあり(1歳～未就学児童)

〈共に無料・要予約〉

チケット発売日: 3/15(土)10:00

舞台写真(2枚共通)

サファリ・P第10回公演「悪童日記」より 撮影: 松本成弘

メニコン シアターAoiの芸術監督・山口茜率いるカンパニー「サファリ・P」

国内外のフェスティバルで賞賛を浴びた代表作が名古屋初上陸！

戦時下を生き延びるための術を一から身につけていった双子の「僕たち」の日記という体裁をとった、アゴタ・クリストフの代表作である同名小説を舞台化。一切の固有名詞を排除し「ただ事実だけを書く」という特殊な文体で、戦争がもたらす狂気と、人間の愛や孤独を深く抉り出し、世界に衝撃を与えた原作を、5人の身体と5つの無機質な台、原作の文体と同様のミニマムな手法で舞台上に力強く立ち上げます。

2019年にはコソボ共和国のKosovo FEMART Festival、日本・瀬戸内国際芸術祭から招聘され、2024年の再演は、作品が《第3回関西えんげき大賞優秀作品賞》を受賞し、出演したカンパニーメンバーの佐々木ヤス子が《第27回関西現代演劇俳優賞 大賞》を受賞した、山口茜とサファリ・Pの代表作が名古屋初上演！

山口茜(→P3)

# 〈現代美術事業〉

演劇

メニコン シアターAoiオリジナル作品の製作・発表を実施します。

## 2 梅田哲也『(タイトル未定)』

2025年9月中旬(日程調整中)

会場:メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【作】梅田哲也

チケット料金・発売日等 調整中

梅田哲也が手がける「劇場ツアー型」パフォーマンスを開催！

TPAM、シアターコクーンなどで、舞台作品も多く手がける現代美術家・音楽家の梅田哲也が手がける、メニコン シアターAoiオリジナルの「劇場ツアー型作品」の製作が決定！



Photo : Tanaka Chihiro

### 梅田哲也

現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象としての動力を活用したインスタレーションを制作する一方で、パフォーマンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアー作品や、劇場の機能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを発表。先鋭的な音響のアーティストとしても知られる。近年の個展に「wait this is my favorite part / 待つてここ好きなどこなんだ」(ワタリウム美術館、東京、2023-2024年)、「梅田哲也 イン 別府『O滞』」(別府、2020-2021年)、「うたの起源」(福岡市美術館、福岡、2019-2020年)「See, Look at Observed what Watching is」(Portland Institute for Contemporary Art、ポートランド、米国、2016年)がある。展覧会に「奥能登国際芸術祭2023」(珠洲、2023年)、「REBORN ART FESTIVAL」(石巻、2019年、2021-2022年)、「さいたま国際芸術祭2020」(大宮、2020年)、「東海岸大地芸術節」(台東、台湾、2018年)。パフォーマンス作品に「リバーウォーク」(KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2022、京都)、「9月0才」(高槻現代劇場、2022年)、「Composite: Variations / Circle」(Kunstenfestivaldesarts 2017、ブリュッセル、ベルギー)、「INTERNSHIP」(国立アジア文化殿堂、光州、韓国、2016年/TPAM 2018、KAAT神奈川芸術劇場ホール)など。

## 〈演劇・舞踊事業〉

演劇

芸術監督・山口茜がメニコン シアターAoiのために選んだ舞台作品を上演します。

### 3 二兎社公演49『狩場の悲劇』(新作公演)

2025年12月17日(水)、18日(木) 開演時間調整中 2回公演(予定)

会場:メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【作・演出】永井愛

【出演】溝端淳平、門脇麦、玉置玲央 ほか

チケット料金・発売日等 調整中

(写真左より) 溝端淳平、門脇麦、玉置玲央

劇作家・演出家の永井愛の4年ぶりの新作公演！

2025年1月にメニコン シアターAoiで上演した『こんばんは、父さん』公演は完売御礼で大好評！

岸田國士戯曲賞をはじめ演劇界のあらゆる賞を受賞してきた劇作家・演出家の永井愛が率いる二兎社が2年連続でシアターAoiに登場。しかも今年はなんと、永井愛4年ぶりの新作公演を上演します！

『桜の園』『かもめ』などの戯曲で世界的に知られるロシアの作家・チェーホフが24歳の時に書いた長編ミステリー『狩場の悲劇』(1884)をベースに、チェーホフによる他の作品のエッセンスも散りばめて、新たな劇世界を創造します。

俗物ばかりの登場人物が繰り広げる、愛憎渦巻くミステリーという側面も持ちながら、明日への展望が開けず、現状を変えることなど想像もできない人々の絶望には、現代のロシア、そして日本へとつながる問題が横たわっています。



#### 二兎社

1981年、大石静と永井愛の二人が設立。ともに卯年生まれであったことから、劇団名を「二兎社(にとしゃ)」とした。それぞれのオリジナル作品を交互に上演し、二人は役者としても出演。『カズオ』などの「早替わり二人芝居」で人気を博し、大石の退団した1991年以降は、永井の作・演出作品をプロデュースする演劇ユニットとして活動を続けている。



#### 永井愛(劇作家、演出家・二兎社主宰)

東京都出身。桐朋学園芸術短期大学演劇専攻科卒業。身近や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結した劇作を続ける。近年の代表作に『『空気』シリーズ』『『ザ・空気』<2017>(読売演劇大賞最優秀演出家賞)、『ザ・空気 ver.2』<2018>(読売演劇大賞選考委員特別賞・毎日芸術賞)、『ザ・空気 ver.3』<2021>]、軍医と文学者の二つの顔を持つ森鷗外が「大逆事件」をめぐって葛藤する様子を描いた『鷗外の怪談』<2014・2021>(ハヤカワ「悲劇喜劇」賞・芸術選奨文部科学大臣賞)などがある。

## 4 森下真樹 ベートーヴェン『運命』全楽章を踊る 舞踊 音楽

2025年2月8日(土)、9日(日) 開演時間調整中 2回公演(予定)

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



© bozzo

### 【振付】

- 第一楽章 MIKIKO (演出振付家)
- 第二楽章 森山未来 (俳優・ダンサー)
- 第三楽章 石川直樹 (写真家)
- 第四楽章 笠井勲 (舞踏家・振付家)

### 【出演】森下真樹

チケット料金・発売日等 調整中

### 4人の振付家が1人のダンサーの身体を通して描き出す『運命』

世界中で愛されてきたベートーヴェンの名曲に挑むのは、日本ダンス界で独特の存在感を示し続けてきた森下真樹。そして、それぞれの分野で才能を発揮する4人が森下を振り付ける！



### 森下真樹(振付家/ダンサー)

幼少期に転勤族に育ち転校先の友達作りで開発した遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上で作品を上演。様々な分野のアーティストとコラボし活動の場を広げる。市民参加型プロジェクトで偶然ベートーヴェンに出逢い、以降、自身のソロ「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」(振付:MIKIKO、森山未来、石川直樹、笠井勲)や、森下スタンドによる全力で歌い上げるかのような祝祭感溢れる群舞「踊れ、第九!」を展開。両作品ともフルオーケストラとの競演を果たす。現代美術家 東芋との作品「映像芝居『錆からでた実』」は2020年に全米4都市ツアーが実現。100人100様をモットーにワークショップや作品づくりを行う。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。2014年第8回日本ダンスフォーラム賞を受賞。2015年～2017年(公財)セゾン文化財団シニアフェロー。(一財)地域創造公共ホール現代ダンス活性化事業支援登録アーティスト。

<http://maki-m.net/>

© RYO OHWADA

## パフォーミングアーツ・セレクション2025（共催事業）

2025年11月1日(土)、2日(日) (予定。変更の可能性あり)

会場: メニコン シアターAoi (愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



岩淵貞太 © Sakiko Nomura



高橋萌登

【参加アーティスト】岩淵貞太、高橋萌登

【ディレクション】唐津絵理 (愛知県芸術劇場 芸術監督 / Dance Base Yokohama アーティスティック・ディレクター)

チケット料金・発売日等 調整中

主催: 愛知県芸術劇場、Dance Base Yokohama

共催: 公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

### 次世代を担う新進気鋭のダンスアーティストの作品を一挙上演！

ダンス事業をリードする公共劇場の愛知県芸術劇場と、ダンス環境の整備とクリエイターの育成を行うDance Base Yokohama (DaBY) が共同製作した新作を、メニコン シアターAoiでも上演。

本公演では、愛知県芸術劇場 芸術監督 / Dance Base Yokohama アーティスティックディレクターの唐津絵理によるディレクションのもと、文化庁による文化芸術活動基盤強化基金を活用して2024年に開始したDaBYの新プロジェクト「世界に羽ばたく次世代クリエイターのための Dance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト”Wings”」で創作する新作を発表します。10月31日(金)～11月2日(日) [予定]には、愛知県芸術劇場(小ホール・中リハーサル室)でも3作品の上演を予定しており、観客の皆さまには、この3日間で各会場を周遊して全プログラムを鑑賞いただけます。

#### 〈メニコン シアターAoi 上演予定作品〉

##### 岩淵貞太『大いなる午後: the soft machine XXX』

肉体が持つ高度なテクノロジーは古代の呪術に宿るという仮説のもと、土方巽や大野一雄、室伏鴻などの舞踏家、諸アジアの伝統舞踊、憑依、幽霊、ニーチェ、北条民雄『いのちの初夜』などを参照。目に見えるものと見えないもの、死者と生者、古代的な儀式と現代のダンスフロアが重なる作品を創作予定です。

##### 高橋萌登 / 作品タイトル未定

日本の伝統的な怪談をベースに、現代のストリートダンススタイルであるHIPHOPを融合させたダンス作品を創作します。恐怖や哀愁、切なさといった日本独特の情緒をHIPHOPのダンスとリズムで再解釈し、古典と現代の対話を試みます。



##### 岩淵貞太 (振付家 / ダンサー)

玉川大学で演劇を専攻、平行して、日本舞踊と舞踏も学ぶ。2007年より15年まで、故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。05年より、「身体構造」「空間や音楽と身体との相互作用」に着目した作品を創りはじめる。10年から、大谷能生や蓮沼執太などの音楽家と共に、身体と音楽の関係性をめぐる共同作業に取り組む。12年、横浜ダンスコレクションEX2012にて、『Hetero』(共同振付: 関かおり)が若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞、フランス国立現代舞踊センター(CNDC)に滞在。自身のメソッドとして、舞踏や武術、老子などから触発された表現方法論「恍惚身体論」を開発。桜美林大学で非常勤講師を務める。DaBY レジデンスアーティスト。LE SSERAFIMが好き。(プロフィール写真 © Sakiko Nomura)



##### 高橋萌登 (振付家 / ダンサー / ビデオグラファー)

長野県出身。幼少よりクラシックバレエを始め、2011年から長年東京ELECTROCK STAIRSのメンバーとして活動。2013年より創作活動を本格化し、高橋がこれまでに培ってきた表現やテクニックを凝縮したオルタナティブダンスをモットーとし、登場人物のキャラクター性や関係性を重視し、現実と架空の世界を融合させ、観た人の記憶の一部に残るダンスとして世界観を創り出している。2017年、ダンスカンパニー MWMW(モウイモウイ)を設立。横浜ダンスコレクション2021で、審査員賞と城崎国際アートセンター賞をW受賞。2024年、カンパニーとして初の海外ツアーをアメリカ2都市で行った。また、映像作品の制作にも力を入れており、ライブパフォーマンスとは異なるアプローチや映像美を追求し、柔軟でより多角的な表現を生み出している。



##### 唐津絵理 (愛知県芸術劇場 芸術監督 / Dance Base Yokohama アーティスティック・ディレクター)

愛知県芸術劇場 常務理事 芸術監督 (アーティスティックディレクター)。お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2003年に所属の愛知県文化情報センターで第1回アサヒビール芸術賞受賞。2010年～16年あいとりエンターレのキュレーター(パフォーミング・アーツ)。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超える。DaBY設立を機に、ダンス、パフォーミングアーツ領域全体の活動環境の整備、アーティスト・ダンサー・スタッフの権利擁護、観客・市場拡大施策等に積極的に関わる。セガサミー文化芸術財団理事。著書に『身体知性』等。令和4年度(第73回)芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。(プロフィール写真 © Takayuki Abe)

# 6 第11回全国学生演劇祭 (共催事業)

演劇 共催事業

2026年3月上旬(調整中)

会場:メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



ENGEKI FRONT  
OF JAPAN 2026  
第11回全国学生演劇祭

チケット料金・発売日等 調整中

第9回全国学生演劇祭 審査員賞受賞団体  
「青コン企画(仮)」舞台写真(撮影: 脇田友)

第9回全国学生演劇祭 大賞受賞団体  
「ギムレットには早すぎる」舞台写真(撮影: 扇町ミュージアムキューブ)

## -みてみたくない? 演劇の最前線の今を-

長く日本各地の演劇シーンを下支えし、人材を輩出し続けてきた学生演劇にスポットを当て、若手の発掘・育成、地域文化の発展、日本各地のネットワーク化を目的とした学生演劇の祭典「全国学生演劇祭」。北海道、とうほく、東京、名古屋、京都、大阪、中四国、福岡など各地の学生演劇祭で推薦を受けた学生劇団が同じ舞台に立ち、演劇の最前線を描き出します。

主催: 全国学生演劇祭実行委員会、日本学生演劇プラットフォーム

共催: 公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

### ※実行委員(学生運営メンバー) 募集中

#### ■ 参加資格(実行委員)

- ・月2~3回程度の定例会議に出席が可能であること。(名古屋市内、あるいはオンライン)
- ・演劇祭劇場入り期間に参加できること。(2026年3月3日(火)~10日(火)の間)
- ・学生(いわゆる新1年生を含む)または24歳以下であること。
- ・演劇活動やイベント運営の経験は問わない。

#### ■ 待遇

- ・参加費・謝礼ともになし
- ・今年度の演劇祭全参加団体の作品を無料で観劇可能。
- ・今後の助成金の獲得状況に応じて、交通費等の費用補填を考慮する場合あり。

■ 締切 5月10日(土) ※人数が定員に達し次第、募集を終了する場合あり。

#### ■ 実行委員募集についてのお問い合わせ先

第11回全国学生委員会実行委員会/日本学生演劇プラットフォーム

メールアドレス: urinko.hiramatsu@gmail.com

件名: 第11回全国学生演劇祭お問合せ

担当: 平松(日本学生演劇プラットフォーム理事/名古屋学生演劇祭アドバイザー/劇団うりんこ制作)

# 7 メニコン シアターAoi 劇作家プログラム

演劇 人材育成

最終発表リーディング上演 2026年3月22日(日) 時間調整中

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)

※プログラム全体は通年開催(非公開) ※チケット料金・発売日等 調整中

【メンター】田辺剛(下鴨車窓)

【参加劇作家】岡本拓也(劇団サカナデ)、斜田章大(廃墟文藝部)、長谷川彩(劇団さよなら)

## シアターAoiが地元・名古屋で活躍する劇作家と取り組む新たなる展開

将来的なメニコン シアターAoiでの協働を視野に入れて、東海圏で活動する若手劇作家3名が、メンターと共に1年程度の時間をかけて、上演を必ずしも目的とせず新作戯曲を1本書き下ろす。

メンターとして伴走するのは、オリジナルの劇作講座の評価も非常に高い劇作家・田辺剛(下鴨車窓)。約1年をかけて書き上げた、3名の若手劇作家の新作をリーディング上演します。



### 田辺剛

劇作家・演出家。劇団「下鴨車窓」代表。2005年『その赤い点は血だ』で第11回劇作家協会新人戯曲賞、2007年『旅行者』で第14回OMS戯曲賞佳作を受賞。2006年文化庁新進芸術家海外留学制度にて韓国に一年間滞在。演劇作品『きみがしらないひみつの三人』が令和元年度児童福祉文化財の特別推薦作品に選出。戯曲講座の講師も。



### 岡本拓也

劇作家、演出家。劇団サカナデ主宰。日本劇作家協会東海支部所属。2019年に劇団サカナデを旗揚げし、以降、本公演4回に加えて合同公演等、劇団の全作品の戯曲・演出を担当。2024年『家は続く』で第9回せんだい短編戯曲賞最終選考選出。2018年より三重県文化会館事業「ミエ・演劇ラボ」に参加。3年かけて長編を創作するプログラムで、過疎地域のコミュニティが崩壊し再編する姿を描いた『超現代』を執筆。同作が2024年北海道戯曲賞最終候補に選出された。2024年『不感症』『家は続く』で、東海3県の演劇の上演に贈られる「第一回虹の会演劇大賞」を劇団として受賞。



### 斜田章大

1989年生まれ。2012年総合表現団体「廃墟文藝部」旗揚げ。その後、全ての作品で脚本演出を担当。2024年からは劇作家協会東海支部副支部長を務める。受賞歴 第30回劇作家協会新人戯曲賞。若手演出家コンクール2019優秀賞。令和元年度名古屋市民芸術祭特別賞(サカシマ)。令和5年度名古屋市民芸術祭特別賞(4047)。その他、戯曲賞最終候補3回。劇団の作品は本作を含め大半を、youtubeで無料公開しておりますので、興味を持たれたら是非廃墟文藝部で一度検索してみてください。何卒よろしくお願ひ申し上げます。廃墟文藝部youtube → [www.youtube.com/@haikyobungeibu](https://www.youtube.com/@haikyobungeibu) HP → <https://haikyobungeibu.jimdofree.com/>



### 長谷川彩

劇団さよなら 作・演出。高校から劇作を始める。ある劇作家の「劇作家は、書いてればそのうちなれます」という言葉を鵜呑みにし、現在に至る。日本のハイコンテクストを信じた会話と、人間の弱さと強さを愛おしく感じる話作りが信条。第二回宇野重吉演劇賞優秀賞受賞。第18、23回日本劇作家協会新人戯曲賞最終候補。ラジオドラマ脚色『機械仕掛けの愛』(原作: 業田良家)、『人工心臓』(原作: 小酒井不木)、『まるみちゃんとうさぎくん』(原作: 大前栗生)。

## 8 芸術監督トークシリーズ

トーク 映画

【トークホスト】山口茜

2025年7月13日(日)、11月15日(土)、他(日程調整中、全6回程度開催予定)

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)

チケット料金・発売日等 調整中

「自分が主役と思える」場所を目指して

メニコン シアターAoiの目指す姿を「自分が主役と思える場所」と定義し、常にマイノリティに寄り添う場所でありたいと志す芸術監督の山口茜が主導し、昨年度に始動したトークシリーズを、2025年度もアップデートし開催します。

映画などの作品鑑賞とトークセッションをワンセットでご参加いただける回に加えて、よりカジュアルかつ少人数での対話のための場を定期的に開いていきます。対話を通じて、他者と出会い、自らを問い直すことで、メニコン シアターAoiが目指す「自分が主役と思える場所」として、誰もが集える場作りを行なっていきます。

### 【トークシリーズ上映予定映画作品①】



©2024 映画 〇月〇日、区長になる女。製作委員会

2025年7月13日(日) 13:15上映開始

映画上映『映画 〇月〇日、区長になる女。』

【監督・トークゲスト】ペヤンヌマキ

人口57万人、有権者数47万人という規模の区長選にも関わらず、わずか187票差で決着した2022年 杉並区長選挙。この選挙に立候補し現職を破った岸本聡子と彼女を草の根で支えた住民たちに密着したドキュメンタリー映画。

監督は杉並区在住の劇作家・演出家ペヤンヌマキ。彼女が長年住むアパートが道路拡張計画により立ち退きの危機にあることを知り、止める方法を自身で調べ動き始めたのがきっかけとなり、本映画が誕生した。2025年、第79回毎日映画コンクールでドキュメンタリー映画賞を受賞。



〈監督・トークゲスト プロフィール〉

ペヤンヌマキ

劇作家・演出家/演劇ユニット「ブス会\*」主宰

現代に生きる女性のリアルをシニカルさと優しさが共存する視点で描き続けてきた。

また脚本家としてテレビドラマなどの映像作品も手がける。

舞台『女のみち』シリーズ、『お母さんが一緒』(第60回岸田國士戯曲賞最終候補作品)、『The VOICE』、明後日プロデュース『ピエタ』、テレビドラマとして『来世ではちゃんとします』シリーズ(テレビ東京)、『特集ドラマ 雨の日』(NHK総合)、『有村架純の撮休』『竹内涼真の撮休』(WOWOW)など。

## 【トークシリーズ上映予定映画作品②】



(C) PLACE TO BE, Yang Yonghi

2025年11月15日(土) 13:15上映開始(予定)  
映画上映『スープとイデオロギー』  
【監督】ヤン ヨンヒ

年長いた母が、娘のヨンヒにはじめて打ち明けた壮絶な体験 – 1948年、当時18歳の母は韓国現代史最大のタブーといわれる「済州4・3事件」の渦中にいた。朝鮮総連の熱心な活動家だった両親は、「帰国事業」で3人の兄たちを北朝鮮へ送った。父が他界したあとも、“地上の楽園”にいるはずの息子たちに借金をしてまで仕送りを続ける母を、ヨンヒは心の中で責めてきた。心の奥底にしまっていた記憶を語った母は、アルツハイマー病を患う。消えゆく記憶を掬いとろうと、ヨンヒは母を済州島に連れていくことを決意する。それは、本当の母を知る旅のはじまりだった。2023年、第77回毎日映画コンクールでドキュメンタリー映画賞を受賞。

### 〈監督プロフィール〉 ヤン ヨンヒ



(C) Emmi Naito

大阪出身のコリアン2世。米国NYニュースクール大学大学院メディア・スタディーズ修士号取得。高校教師、劇団活動、ラジオパーソナリティ等を経て、1995年より国内及びアジア各国を取材し報道番組やTVドキュメンタリーを制作。父親を主人公に自身の家族を描いたドキュメンタリー映画『ディア・ピョンヤン』(05)は、ベルリン国際映画祭・最優秀アジア映画賞(NETPAC賞)、サンダンス映画祭・審査員特別賞ほか、各国の映画祭で多数受賞し、日本と韓国で劇場公開。自身の姪の成長を描いた『愛しきソナ』(09)は、ベルリン国際映画祭、Hot Docs カナディアン国際ドキュメンタリー映画祭ほか多くの招待を受け、日本と韓国で劇場公開。脚本・監督した初の劇映画『かぞくのくに』(2012)はベルリン国際映画祭・国際アートシアター連盟賞(CIGAE賞)ほか海外映画祭で多数受賞。さらに、ブルーリボン賞作品賞、キネマ旬報日本映画ベスト・テン1位、読売文学賞戯曲・シナリオ賞等、国内でも多くの賞に輝いた。本作『スープとイデオロギー』で韓国 DMZ国際ドキュメンタリー映画祭 グランプリ ホワイトグース賞、第77回毎日映画コンクールドキュメンタリー映画賞など受賞。著書にノンフィクション「兄 かぞくのくに」(12/小学館)、小説「朝鮮大学校物語」(18/KADOKAWA)、エッセイ「カメラを止めて書きます」(23/CUON)ほか。

## 9 ヒョーゲンアソビノバ

2025年11月27日(木)、12月9日(火) 開始時間調整中

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【コーディネーター】青木敦子

【ヒョーゲンアソビのなかまたち】

鈴木英理子(ダンサー・振付家)、他

※推奨年齢: 未就学児童とその保護者

ひとりひとり それぞれがそれぞれの ありのままを確認できる〈表現/アート〉の遊び場

〈いろいろな音の出る楽器や楽器ではないモノ〉+〈カラダの動きが生まれそうなモノ〉+〈紙と描くためのモノ〉+〈ヒョーゲンアソビのなかま(アーティスト)が探求をしている姿〉がある環境を用意しています。

あとは、そこに大きな危険が起こらないように配慮しつつ、ひとりひとりの活動を肯定的なまなざしと声かけで見守り、サポートするためのスタッフがよりそいます。

決まったプログラムはありません。それぞれの中に生まれた「やってみたい!」を大切にします。アーティストの存在が刺激となって、いろんところでいろんなことが生まれます。子どもと大人が参加できる〈表現/アート〉の遊び場。



### 青木敦子

婦人服の販売員9年ののち、やりなおし大学生活中にアートマネジメントと出会って2003年から地方自治体の文化事業担当として関わる。そのなかで、自分がやりたいことは〈子どもたちの育ちをアートでサポートすること〉だと認識した。2016年からはフリーで助成金を得ながら、アーティスト&アート表現による遊び場をつくる活動と子どものことを知るための保育補助の仕事をしている。



### 鈴木英理子

ダンサー・振付家。おやこダンスカンパニー「チチカカコ」主宰。言葉ではない小さな子どもとのコミュニケーション、子どもの成長とともに変化していく親子の関係性、「今」しかないわが子との時間にフォーカスを当てたダンス作品をつくっている。

# 10 下垣真希 平和のコンサート2025

2025年8月9日(土) 15:00開演(14:30開場)

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



## 【出演】

下垣真希(ソプラノ)

ジャー・パンファン(二胡)

カテリーナ(バンドウーラ)、北川美晃(ピアノ)、村上信夫(語り)

5/24(土)10:00 チケット予約受付開始

チケット料金調整中

(写真左) 下垣真希 (写真右) ジャー・パンファン

長崎の原爆投下の日から80年。平和への祈りを込めた特別なコンサート。

長崎への原爆投下から80年となる8月9日に、長らくドイツで活動したソプラノ歌手・下垣真希が、ドイツ・ハノーファー万博で独唱した『長崎の鐘』をはじめ、平和への祈り、命の尊さを歌い上げます。



## 下垣真希(ソプラノ)

- 愛知県立芸術大学、ならびにケルン国立音楽大学卒業。
- 叔父が長崎原爆の犠牲となったことや、冷戦時代からベルリンの壁崩壊までの激動期にドイツ国際ラジオ局でDJを務めたことなどから、20年以上にわたり全国で命と平和の尊さを伝えるコンサートを開催。全国平和首長会議の冒頭コンサートや「長崎の鐘」の原作者・永井隆博士生誕100年記念コンサートを長崎で公演。
- アジア代表としてドイツ万博閉幕式で独唱。ヨーロッパやアジアでも日本の歌の魅力を保っている。
- 愛知県芸術文化選奨文化賞、マレーシア政府公認機関AEEF文化貢献賞など受賞。
- 現在はコンサート活動のかたわら名城大学大学院で多文化共生論の教鞭を執る。公益財団法人メニコン芸術文化記念財団理事、公益財団法人きずな育英基金理事、島根県観光大使「遣島使」、下呂温泉ふるさと観光大使を務める。

<http://maki-opera.com>



## 賈 鵬芳(ジャー・パンファン, 二胡)

- 中国屈指の楽団「中国中央民族楽団」のソリストを経て1988年来日。
- 作曲家・服部克久氏との出会いをきっかけに、群を抜く音色の美しさと表現力が注目され、国内外でのソロコンサートや、著名ミュージシャンとの共演・アルバム参加、映画・CM・TV・ゲーム音楽で活躍している。オリジナルアルバムは世界各国でリリースされ、音楽賞を受賞するなど海外での評価も高い。
- 東京芸術大学修士課程修了。

<http://www.jia-pengfang.com>

# 11 小曾根真トリオ TRiNFIniTiy

2025年9月26日(金)19:00開演(18:30開場)

会場:メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



## 【出演】

小曾根真(ピアノ)、小川晋平(ベース)、きたいくにと(ドラムス)

チケット料金・発売日等 調整中

©Takumi Saitoh

小曾根真が絶大な信頼を寄せる若手ミュージシャン2名と結成したスーパートリオがシアターAoiへ！メニコン シアターAoiのオープンニングイヤーでのアヴィシヤイ・コーエンとのステージも鮮烈な印象を残した小曾根真が、2年ぶりにシアターAoiに帰ってくる！  
今回小曾根がトリオを組むのは、次世代を担う若手音楽家のプロジェクト「From OZONE till Dawn」に参加するベースの小川晋平とドラムのきたいくにと。「Trio」と「Infinity」を掛け合わせたバンド名の通り、瞬間瞬間のインタープレイの生み出す化学反応が無限の可能性を感じさせる、圧巻のライブパフォーマンスにご期待ください。



©YOSUKE SUZUKI

## 小曾根真(ピアノ)

1983年パークリー音大を首席で卒業。同年米CBSより全世界デビュー。以来、ゲイリー・バートン、チック・コリア、ブランフォード・マルサリスなど、トッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いてのツアーなど、ジャズの最前線で活躍。2003年グラミー賞ノミネート。ニューヨークフィル、NDRエルプフィルハーモニー等、国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。

2021年の還暦の節目には、「OZONE60」プロジェクトを全国47都道府県で催行。

2023年シーズンは、ハリウッド・ボウルへの出演や、世界最高峰のビッグバンドの1つWDRビッグバンドとの共演や、世界的ベース奏者アヴィシヤイ・コーエンとの世界ツアーなど、今後も海外での躍進が続く。2025年には20周年を迎えるNo Name Horsesとともに、新譜をリリース、及び、全国ツアーを行う。

近年は、「From OZONE till Dawn」と題した若手音楽家のプロジェクトにも取り組み、2024年には自身の最新トリオ「小曾根真TRiNFIniTiy」を結成。平成30年度紫綬褒章受章。



©Leslie Kee

## 小川晋平(ベース)

13歳でエレクトリックベースを始め、ジャズの魅力に惹かれ16歳でアコースティックベースを始める。

2016年に渡米し、California Jazz Conservatoryに入学。Jeff Densonを始め、様々なミュージシャンに師事する傍ら、サンフランシスコ周辺のライブハウスやスタジオを中心に演奏活動をする。

2019年NYへ移り、2021年に帰国。東京に拠点を移し、日野皓正、小曾根真、Gene Jackson、黒田卓也、大林武司の各氏らと共演を重ねる。

2023年 大植英次指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団による小曾根真作曲：ピアノ協奏曲『SUMIDA』(同団50周年委嘱作品)世界初演演奏会に出演。

小曾根真の新トリオ『Trinifinity』のメンバー。



©Leslie Kee

## きたいくにと(ドラムス)

1995年奈良県生まれ。2017年国立音楽大学ジャズ専修を卒業。

神保彰氏に師事し、同学在学中にプロデビュー。

増尾好秋「MAGATAMA」、鈴木勲「OMA SOUND」のレギュラーメンバーを務め、エリック・ミヤシロバンドなどへも参加。ジャズ界に身を置きながら、エンタメ・ジャズバンド「Calmera」のメンバーとして、全国の大型ロックフェスにも出演。角松敏生や佐藤竹善などのバックバンドにも参加するなど、様々なライブやレコーディングなどでジャンルを超えて活躍。

2023年 大植英次指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団による小曾根真作曲：ピアノ協奏曲『SUMIDA』(同団50周年委嘱作品)世界初演演奏会に出演。

小曾根真の新トリオ『Trinifinity』のメンバー。

# 12 『EPOCH STAGE エポックステージ Vol.2 ～オペラ歌手ですが、なにか？～』

音楽

2025年10月18日(土)2回公演(開始時間調整中)

会場:メニコンシアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【出演】名古屋二期会より、オーディションによる選抜メンバー  
吉田知明、内田智一(ダブルTOMO)  
末吉康治(案内人)、重左恵里(ピアノ)

【演出】吉田知明

【プロデュース】楠部享子(メニコンビジネスアシスト)

チケット料金・発売日等 調整中

2024年10月公演 舞台写真、撮影:杉江美知隆

## 「エポック」とは、新しい画期的な時代！

中部地区におけるオペラの普及と発展に力を注いできた名古屋二期会が、オペラ表現の枠組みを超えて、新機軸の魅力を生み出すためのステージをお届けします。

オーディションによって選抜された若手メンバーが、ゲスト出演者(ダブルTOMO・吉田知明&内田智一)とともに芝居(コント?)、ナレーションにも挑戦しながら、レパートリーであるオペラアリアだけでなく、オリジナルストーリーにオリジナル曲を交え、歌の素晴らしさやその可能性を伝えます。

ファンの裾野を広げるため、敷居が高いと思われがちなオペラを親しみやすく魅せる工夫を凝らし、名古屋二期会所属の若手歌手たちが自らの殻を破る挑戦のステージです。



## 名古屋二期会

1970年、中部地方で初の声楽団体として「二期会名古屋支部」の名称で誕生した。二期会会員でもある平田黎子 県立芸大音楽科教授、音楽評論家牧定忠が顧問、加藤義也、洞谷吉男、小手川晶子、篠原節子、山本皖性、加藤典子の6人が会員となり、芸大卒業生を含め名古屋地区の声楽を志す人たちに、教育と研究、発表の場を作ることになった。2020年に発足50周年を迎え、会員も180名を数える。オペラの上演数は、数多い日本のオペラ団体の中でも、東京二期会、藤原歌劇団、関西歌劇団、ニッセイ文化振興財団、東京室内歌劇場に次ぐ実績を誇っている。



## 吉田知明

愛知県名古屋市出身。国立音楽大学音楽学部声楽専修卒業、同大学院修士課程声楽専攻オペラコース修了。イタリアミラノ留学。

2006年のオペラユニットTHE LEGEND結成メンバー。2024年12月の活動休止までリーダーとして中心的な役割を果たした。近年では、プレイヤーのみならずプロデュース、作詞・脚本、演出を担当する舞台作品も多く、その多面的・総合的な活動においても着実に評価を得ている。



## 内田智一

北海道札幌市出身。国立音楽大学声楽科卒業。

2003年よりミラノに留学。研鑽を積む傍らイタリア各地でオペラやコンサートに出演。

2024年12月に活動休止したオペラユニットTHE LEGENDメンバーとして長年コンサートやオペラを中心に活動。近年ではストレートプレイにも活動の幅を広げ、第20回杉並演劇大賞受賞作『性年バイバイ』では、その類稀なる表現力と圧倒的な存在感で好評を博した。

# 13 プリズムステージ&プリズムスクール

音楽

レクチャー

人材育成

2025年4月～2026年3月(年間30回程度の開催を予定)

会場:HITOMIホール(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 メニコンANNEX)

【総合プロデュース】楠部享子(メニコンビジネスアシスト)



## 多彩に煌めくステージをHITOMIホールで

プリズムステージとは、木のぬくもりがあたたかい110席のサロンのような雰囲気を醸すHITOMIホールにて、クラシック音楽コンサートを中心に、アーティスト・演奏者と協同し、相互の発信力・企画力・ステージオリエントの追求を目指し実施する企画です。クラシック音楽を中心にしながらも、クラシックから派生するオリジナル音楽、ミュージカル音楽、JAZZやPOPSも含めて多彩にお届けし、さらに、音楽を軸に、演劇や朗読、身体表現(コンテンポラリー)など、異なるジャンルとのコラボレーションステージも積極的に展開しています。また、リレーコンサートシリーズ(1回/月)、スター・クラシックス・アカデミア・タイアップシリーズなど、中部地区で活動する若手アーティストの起用を推進し、次代を担う演奏家の発掘にも繋がります。



### ★プリズムスクール★

#### 音楽とコラボレーションしながら、知識を体感・体得するカルチャー講座

プリズムステージの姉妹企画として、講義・講演を主体としながら音楽シーンとの融合を図るカルチャー講座。文学・美術・自然科学・歴史...など、アカデミックで敷居が高いと思われるがちな分野に、音楽との調和をもって異なる視点から有機的に知識を体感・体得してもらうことを目的に開講しています。

## プリズムステージ&スクール 2025 ラインアップ(抜粋・予定)

### 1 超絶トリオコンサート 4月10日(木)18:30開演

[出演] ピアノ/加藤昌則、ヴァイオリン/石上真由子、ホルン/福川伸陽

### 2 Arte ALTO コンサート 5月23日(金)18:30開演、24日(土)14:00開演

[出演] テノール/安賜勲 Johannes、バリトン/能勢健司、鈴木健司、バス/森雅史、ピアノ/伊藤昌司、秀平雄二

### 3 リレーコンサートシリーズ(1回/月)

4月24日(木)18:45開演 宮本花 クラリネットリサイタル

5月14日(水)18:45開演 曾根果恋 ピアノリサイタル

6月12日(木)18:45開演 平野ほの花 フルートリサイタル ほか

### 4 東海バロックプロジェクト室内楽シリーズ

6月18日(水)14:00開演、19:00開演

テーマ: 敬愛・テレマン×ルイ15世の音楽家

10月17日(金)14:00開演、19:00開演

テーマ: 友情・ヘンデル×テレマン

12月10日(水)14:00開演、19:00開演

テーマ: 切磋琢磨・ルベル×フランクール

### 5 ピアソラ作曲 オペリータ「プエノスアイレスのマリア」～タンゴの愛～ 7月25日(金)18:30開演、26日(土)15:00開演

[出演] ヴォーカル/蛭牟田実里、塚本伸彦 ヴァイオリン/水野慎太郎、寺田文人、コントラバス/榊原利修、ギター/望月雄史、パーカッション/中村新 ほか

### 6 <プリズムスクール>加藤昌則のクラシック講座 Season9 【ブラームスの音楽、その魅力】

10月8日(水)15:00開講、11月18日(火)15:00開講、12月17日(水)18:30開講 ※最終回はまとめのコンサートになります。

## 14 メニコン シアターAoi 防災落語 & トーク

2025年5月20日(火)13:00開演(12:30開場)

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



(写真左) 登龍亭獅鉄



(写真右) 矢野きよ実

【防災落語】登龍亭獅鉄 【司会・お話】矢野きよ実

料金: 無料(先着200名・要申込)

※関連企画

展示『でら防災 ~暮らしの中の備え展~』

2025年5月20日(火)~25日(日)

(各日10:00オープン、平日は18:00まで、土曜日16:00まで、日曜日15:00まで)

会場: ギャラリーMENIO

### もしも公演中に地震が発生したらどうする? どうやって避難すればいい?

落語会の最中に地震が起きる想定 of 避難訓練イベントを開催します。地元消防署と連携し、地域住民の方と共に災害に備えます。

防災落語は、地元・名古屋で活動する落語家の登龍亭獅鉄(とうりゅうていしつ)が口演。

そして、2011年3月11日の震災直後から日本赤十字愛知県代表として視察のため医師団と被災地に入り、その後も被災地支援に注力し、その経験を生かして「生きること」「命の大切さ」を伝える講演活動を続けている、書道家・パーソナリティの矢野きよ実の講演会もごぞいます。



#### 登龍亭獅鉄(落語家)

1990年 岐阜県大垣市 出身

名城大学を卒業後、愛知県の鉄道会社にて勤務。退職後、登龍亭獅篁に入門。

2021年11月上演「新・中村仲蔵」が名古屋市民芸術祭2021伝統芸能部門 特別賞を受賞する。

普段は「鉄道落語」「防災落語」を手がける。



#### 矢野きよ実(パーソナリティ・書道家)

名古屋市大須生まれ。15歳で芸能界デビュー。テレビやラジオなど活躍の場を広げる。

17歳から始めた書で表現する独特の世界観が注目を集め、書家として霄花(しょうか)の雅号を持ち、これまで数多くの賞を受賞。2021年冬、代表作「いい日になりますように」の書が帝国ホテル東京ブランドショップ名に抜擢。2023年春、帝国ホテルプラザ東京キービジュアルに「花道 あなたと歩きたい」の書を揮毫。2011年3月11日の震災直後から被災地に入り、子どもたちと「心の声」を聞きながら一緒に書を書く【書きましょ】という支援活動を精力的に行っている。現在、医療・災害、教育現場、福祉、少年院など、さまざまな分野からの講演依頼に「生きること」「命の大切さ」を伝えている。

- 特定非営利活動法人 愛知万博記念災害・救急医療研究会理事
- 名古屋観光文化交流特命大使
- 石巻市いしのまき観光大使
- 障害者と市民のつどい実行委員会 名誉実行委員長
- 名古屋小児がん基金 特別顧問
- 幼児虐待のためのシェルター「パオ」スペシャルサポーター
- SDGs メイド・イン・サステイナブル・プロジェクト アンバサダー
- やきものワールド アンバサダー
- 玄玄書作院理事長

## 15

### プロジェクターによる投影作品『光の切り絵～雫の旅～』 ロビーコンサート

『光の切り絵～雫の旅～』毎週水曜日18時～

\*シアターAoiでイベントのある日ならびに休館日はお休みです。

ロビーコンサートは不定期開催。

会場:メニコン シアターAoi 1Fロビー

(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



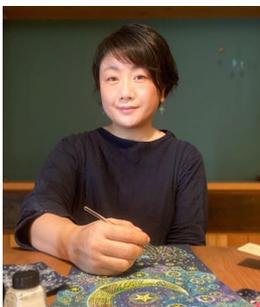
『光の切り絵～雫の旅～』上映写真



ロビーコンサート 演奏写真

#### 【光の切り絵】酒井敦美

メニコン シアターAoiの緞帳デザインを手がけた酒井敦美さんによる光の切り絵を上映いたします。ここでしかみることができない幻想的な光の切り絵と音楽を是非体感しに来てください！



#### 酒井敦美(光の切り絵 作家)

独学で絵を描き続け、舞台美術としての OHP を使った切り絵制作が礎となる。

“切り絵”を“光”で透かして表現する、オリジナル画風を「光の切り絵」と名付け、制作・発表を続けている。光の切り絵には今、一枚の切り絵が二つの表情に変化する「一画二驚(いちがにきょう)」、街路や景色に投影する「幻灯空間」、音楽とオブジェと共に風景を描く「地球スケッチ」など様々な表現が生まれ、枠に留まることなく思うままに創作に挑み、遊び続けている。

# メニコン シアターAoi開館から2年間の受賞歴について

2023年7月のグランドオープン以降に(公財)メニコン芸術文化記念財団の主催事業として上演した作品や、主催事業として公演を開催して下さった関係者の皆さまの2024年度内の受賞歴をまとめました。皆様のご協力のもと、優れた作品をメニコン シアターAoiで上演することができましたこと、心より感謝申し上げますとともに、受賞されました皆様にお慶び申し上げます。

受賞者氏名	受賞	対象作品	備考
メニコン シアターAoiで上演した公演が賞の対象となったもの(太字下線付き が当館での上演作品)			
山岡徳貴子 氏	第31回OMS戯曲賞 大賞	『 <u>そして羽音、ひとつ</u> 』	『そして羽音、ひとつ』は2023年11月にトリコ・Aの作品として当館で上演(演出:山口茜)
横山拓也 氏 (iaku)	第59回紀伊國屋演劇賞 個人賞	・iaku『 <u>流れんな</u> 』の作・演出、 パルコプロデュース公演『ワタシタチはモノガタリ』の作	iaku『流れんな』は2024年8月に当館で上演。
永井愛 氏 (二兎社)	第32回読売演劇大賞 優秀演出家賞	二兎社公演47『パートタイマー・秋子』、 <u>二兎社公演48『こんばんは、父さん』</u>	2025年12月に、永井愛 氏の新作・二兎社『狩場の悲劇』を当館で上演予定(→P.6)
2023,2024年度のメニコン シアターAoi主催公演関係者の受賞について			
古川健 氏 (劇団チョコレートケーキ)	第28回鶴屋南北戯曲賞	「白き山」「つきかげ」 (劇団チョコレートケーキが上演)	2023年7月に当館で上演した、劇団チョコレートケーキ『ブラウン管より愛をこめて—宇宙人と異邦人—』の劇作を担当。
サファリ・P	第3回関西えんげき大賞 優秀作品賞	第10回公演『悪童日記』	芸術監督・山口茜のカンパニー。2025年6月に同作を当館上演予定(→P.4) 当館では、2023年にトライアルイベントとして、第9回公演『透き間』を上演。
佐々木ヤス子 氏 (サファリ・P)	第27回関西現代演劇俳優賞 大賞	サファリ・P 第10回公演『悪童日記』	2025年6月に当館で上演する同作に出演予定(→P.4) 当館ではこれまで、サファリ・P『透き間』、トリコ・A『そして羽音、ひとつ』、子どものための舞台作品『ひかりとかげ』に出演(全て演出:山口茜)。



トリコ・A演劇公演2023『そして羽音、ひとつ』  
撮影:羽鳥直志  
(撮影会場:メニコン シアターAoi)



iaku『流れんな』  
撮影:木村洋一



二兎社48『こんばんは、父さん』  
撮影:本間伸彦



# メニコン シアターAoi 貸館情報

## 1. 申込受付開始時期

使用目的	予約開始日
① 2日間以下の利用	使用日(複数日の場合は初日)の10か月前の月の第1営業日
② 3日以上の利用	使用日(複数日の場合は初日)の12か月前の月の第1営業日
③ 舞台のみ利用	使用日の3ヶ月前の月の第1営業日
④ 非会員の利用 (文化芸術に関する活動以外営利目的での利用)	使用日の2ヶ月前の月の第1営業日

- ・予約受付は使用日の1か月前の月末にて締め切ります。
- ・予約希望が重なった場合は原則会員の予約を優先します。

## 2. ご利用の流れ

初回ご利用にあたり、文化芸術、芸能に関する活動(演劇、オペラ、ミュージカル、演奏会、講座・セミナー等)でご利用の方は、事前に利用会員登録が必要となります。  
 利用会員登録に関しては、当財団が別途定める利用会員規約の内容をご確認の上、所定の方法でお手続きください。  
 文化芸術に関する活動以外の利用の方は非会員利用となりますので、利用会員登録は不要ですが、シアターの予約受付期間、利用料金が異なりますのでご注意ください。

### Step1 利用会員登録(要 利用登録・入会金)

### Step2 お申込み

- ・空き状況はオンライン予約システムでご確認いただけます。
- ・申込み開始日は利用日数・用途によって異なります。また、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、一般申込みに先立って受付する優先申込みを行っています。詳細は当シアターWEBサイトをご確認ください。

### Step3 使用申込みの成立

- ・使用承諾の可否を、メールにてご連絡します。

### Step4 本申し込み・使用料金の支払い

- ・当シアターと来館日を調整し、ご来館にて本申し込みをお願いします。

### Step5 公演内容の打ち合わせ(利用日の約1ヶ月前)

## 3. 諸注意

### ■キャンセル料について

主催者の都合により、当シアターとピアノの使用を取り消される場合には以下の取消料金(キャンセル料金)が発生いたします。

基本使用料金の全額:当シアター使用日の3か月前から当日までの取消

- ・上記の他、催事当日にピアノ調律が予定されている場合のピアノのキャンセルについては、調律業者の規約によりキャンセル料金をご請求される場合があります。

### ■当シアター使用時の禁止事項

- ・喫煙行為(施設周辺も完全禁煙) ・フロアに揺れが伝わる重低音・振動の演出 ・大きな音が出る大太鼓等の楽器の使用

\* その他の禁止事項や、当シアター使用の制限が発生する事由、事故等による公演中止の管理責任等についての詳細は、シアターAoiのWEBサイトをご確認ください。

## ■ メニコン シアターAoi WEBサイト

最新の情報はこちらからご覧ください。

劇場パス図等、メニコン シアターAoiの広報用素材もこちらからダウンロードいただけます。

<https://meniconart.or.jp/aoi/>

## ■ チケット

メニコン シアターAoiでの主催事業のチケットは、メニコン シアターAoiウェブサイトにてご購入いただけます。チケット予約サイトの会員登録で、公演情報や劇場関連情報を掲載したメールマガジンを定期的に配信します。

## ■ SNS

 X(旧Twitter)



@TheaterAoi

 Instagram



@theateraioi

 Facebook



@TheaterAoi

 YouTube



@menicon\_aoi

 note



theater\_aoi

主催:

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号

TEL:052-938-7185(10時-17時) \* 休館日除く(不定期)

FAX:052-982-9108

広報に関するお問い合わせ:

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団 主催事業ラインアップ 広報担当(合同会社syuz'gen)

TEL:03-4213-4292(平日10時-18時) FAX:03-4333-0878

E-mail:[press@aoi-press.info](mailto:press@aoi-press.info)